

か|か|み|が|は|ら 市議会だより



2023年5月発行

No. 190

3月 6月 9月 12月
令和5年3月定例会

議案概要

新年度予算 P.2
令和5年度主な事業

委員会審査

市役所前駅バス停留所 P.5
40メートルに延長

一般質問

子ども家庭福祉 P.9
組織連携で一体的に支援

一般質問

小中学生の体力低下 P.10
改善成果を共有

一般質問

インクルーシブ遊具 P.11
誰もが利用しやすい公園へ

一般質問

子育てしたいまちへ P.11
意見聴き施策を検討



空宙博に搬入されるF-4 ファントム

今号の表紙
F-4 ファントムを引っ張れ!

航空自衛隊の主力機として活躍したF-4 ファントムの空宙博での展示に先駆け、2月18日に綱引きイベントが行われました。

懸命に綱を引っ張った子どもたちからは、機体の重さを実感した様子と、機体を動かしたうれしさを感じられました。

代表・一般質問

12人が
市政を問う P.8~

令和5年度の 主な事業を紹介

「持続可能な未来へ」
一般会計で588億3千万円を予算計上
新規事業を「誇り」「やさしさ」「活力」の3つに分類

令和5年度当初予算の規模は、一般会計で588億3千万円、前年度比10・3%の増となりました。令和5年度は市制施行60周年という記念の年となります。その節目にふさわしく、持続可能な未来へ向けた幸先の良いスタートを切るためにも、令和5年度予算は、昨今の原油価格・物価高騰にしっかり対応しつつ、本市の特色ある事業や先を見据えた事業を盛り込み「市民がしあわせを実感できるまち」の実現に向けた編成を行いました。このページでは、新年度の主な事業を総合計画の基本理念である「誇り」「やさしさ」「活力」の3つに分類して紹介していきます。

誇り
夢チャレンジ事業
児童生徒一人一人が、将来の夢を思い描き、自分の可能性を伸ばすことができるよう、寺子屋事業の一つとして新たに実施します。

未来のリーダーとして活躍していくためのヒントとなる生き方や考え方を学ぶ「立志コース」と、将来を見つめ、夢の実現に向けて取り組む「ドリームマップコース」を設けます。

まちづくり担い手支援事業
次世代を担う若者が、新たなまちづくりの担い手となるよう、きつかけづくりや仲間づくりの場を創出します。



カナダとオンライン交流する緑苑小学校

小規模特認校事業
令和5年度から稲羽東小学校と緑苑小学校に、要件を満たせば市内全域から就学することができる小規模特認校制度を導入するにあたり、特認校ならではのきめ細やかな指導や魅力ある学習プログラムを実践します。

議案概要

令和5年3月定例会を2月28日から3月28日までの29日間開催し、令和5年度一般会計予算をはじめ、38案件を審議しました。

主な議案は以下のとおりです。

- ▶ **職員定数条例の一部改正**
職員の定年年齢の段階的な引き上げの影響などに伴い、職員の定数を改めるものです。
- ▶ **国民健康保険条例の一部改正**
国民健康保険法施行令の一部改正等に伴い、出産育児一時金の支給額の引き上げなどを定めるものです。
- ▶ **副市長の選任**
副市長小鍋泰弘氏の任期が令和5年3月31日に満了するため、その後任に今道雄介氏を選任するものです。
- ▶ **総合計画特別委員会の設置決議**

次期総合計画の策定に当たり、基本構想、基本計画及び関連する諸課題について市議会として調査・研究するため、特別委員会を設置するものです。

総合計画特別委員会

- | | |
|-------|-------|
| ◎川嶋一生 | ○坂澤博光 |
| 水野岳男 | 古川明美 |
| 塚原 甫 | 指宿真弓 |
| 横山富士雄 | 岩田紀正 |
- ◎委員長 ○副委員長

やさしさ

災害用備蓄食料購入事業

地震や豪雨などによる大規模災害時に多様な避難者に対応するため、摂取しやすい「ゼリー飲料」や、手軽にエネルギー補給ができる「ようかん」を新たな備蓄食料として追加します。

保育料軽減事業

国の幼児教育・保育無償化事業の対象外となっている3歳未満児の保育料を、保護者の経済的負担を軽減するため引き下げます。

通いの場等における

フレイルチェック事業

高齢者の通いの場などで、市

議会構成

3月定例会より、議会の役職や委員会構成が変わりました。(令和5年4月1日時点)



議長 川瀬勝秀
副議長 瀬川利生
監査委員 大竹大輔

総務常任委員会

- ◎水野岳男
- ◎井戸田直人
- 古川明美
- 津田忠孝
- 坂澤博光
- 川嶋一生

民生常任委員会

- ◎横山富士雄
- ◎指宿真弓
- 杉山元則
- 瀬川利生
- 吉岡 健
- 岩田紀正

経済教育常任委員会

- ◎黒田昌弘
- ◎小島博彦
- 永治明子
- 池戸一成
- 川瀬勝秀

建設水道常任委員会

- ◎塚原 甫
- ◎仙石浅善
- 波多野こうめ
- 五十川玲子
- 大竹大輔
- 足立孝夫

議会運営委員会

- ◎川嶋一生
- ◎黒田昌弘
- 古川明美
- 小島博彦
- 池戸一成
- 足立孝夫

新総合体育館建設調査特別委員会

- ◎足立孝夫
- ◎仙石浅善
- 水野岳男
- 井戸田直人
- 小島博彦
- 五十川玲子
- 池戸一成

◎委員長 ○副委員長



各地域で実施しているフレイルチェック事業

独自の指標を用いたフレイルチェックを実施するとともに、専門職による講話や体操などを通じてフレイル予防の重要性を広く周知します。チェック後には、フレイルの恐れがある方に対して専門職による個別支援を行います。

活力

中小企業DX・ロボット等

導入支援事業

市内中小ものづくり企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を通じたビジネスモデルの変革を推進するため、生産性向上や業務効率化を目的としたシステムやロボットなどの導入費用の一部を補助します。

障がい者雇用促進事業

市内企業を対象に、障がいのある方が職場に定着し、活躍するためのノウハウを学ぶセミナーなどを開催します。

市制施行60周年記念式典事業

市制施行60周年を迎え、記念

すべき節目を祝うとともに長年にわたり本市の発展にご尽力いただいた方々の功績を称えるため、記念式典を開催します。

新那加駅周辺二期地区都市構造

再編集支援事業

「新那加駅周辺地区バリアフリー構想」に基づき、名鉄新那加駅の南口に駅前広場や周辺道路などを整備します。

駅前広場は令和6年度中の完成を予定しています。

スマート農業技術導入事業

農業者がロボットやAIなどの先端技術を活用して、経営発展や改善を目指す際に必要となる機器・機械などの導入にかかる費用の一部を補助します。

委員会審査

議案を分野別に4つの委員会に分け、詳しく審査を行いました。各委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

総務常任委員会

令和5年度一般会計予算

問 公共施設予約システム改修事業の内容は。

答 現在の施設予約は2カ月前からとなっているが、計画的に事業や講座が実施できるように、文化施設の予約を3カ月前から行えるように改修する。

問 広報紙の発行回数を見直す考えは。

答 配布に労力がかかるとの意見もあるが、市民アンケートでは約8割が「今のままで良い」という回答だった。

問 紙の広報紙は今後も必要と考えるため、ウェブサイトやSNSの活用と併せて情報発信を考えていきたい。

問 高機能消防指令センターを全更新する理由は。

答 現在の高機能消防指令センターが古くなり、119番がつかない、システムがダウンしてしまうなどの恐れがある。

また、令和7年以降に3G回線の電波が使用できなくなり、車両位置情報が取れなくなってしまうため、全更新する。



設備を更新予定の高機能消防指令センター

民生常任委員会

令和5年度一般会計予算

問 保護者等のための保育所ICT化事業のメリットは。

答 出欠席の連絡がスマートフォンアプリから可能となることで、朝の忙しい時間の電話連絡が不要となるほか、児童の登降園の情報が登録した家族全員に届くようになり、安心感が得られることなどである。

問 保育料軽減事業について、保育料はどのくらい減額されるのか。

答 現在の保育料から全体で4割ほど削減される。対象者は796人の見込みで、1人当たり平均月額1万5千円程度の減額を見込んでいる。

問 4月に開設を予定している「おくやみコーナー」の特徴は。

答 市役所以外の手続きについても案内をすることや、予約制にすることで事前に各課で確認・準備し、ご遺族の手続き時間の短縮が図れること、当日の手続きを1カ所で行うため

移動のご不便をお掛けしないことなどである。

問 医療扶助のオンライン資格認定導入事業の内容は。

答 生活保護受給者が医療機関を受診する際は、市が発行した紙の医療券を医療機関に提示することで資格認定を行っているが、マイナ保険証システムの活用により、医療券がなくても資格認定が可能になる。

令和5年度介護保険事業特別会計予算

問 住民主体の地域の高齢者等移動支援事業の内容は。

答 自治会などを通じて介護予防に関するルートや買い物、病院などの日常生活のルートを設定し、交通事業者とタクシー運行を計画いただき、その費用について自己負担分を除いた3分の2を市が補助する。

健やか手当支給条例の廃止

問 健やか手当金を廃止後、考えている事業は。

答 令和5年度は、ひとり親家庭等高校生通学支援事業の拡充や、保育園の利用料の引き下げなどを行う。

経済教育常任委員会

令和5年度一般会計予算

問 学校給食費の公会計化に伴うメリットは。

答 学校給食費会計の透明性が向上すること、給食を安定的に供給できること、教職員の徴収業務の負担がなくなることなどである。

問 高校生向け市内企業見学バスツアーと大学生向け航空機関連企業バスツアーの拡充内容は。

答 高校生向けは、今まで岐阜工業高校の生徒を対象に行っていたが、新たに地元の岐阜各務野高校の生徒を対象とする。

大学生向けは、これまで中部大学と連携協定を結び、事業を行っていたが、新たに令和4年度に連携協定を結んだ第一工科大学と、既に連携協定を結んでいる日本文理大学を追加して実施する。

問 ふれあいバス停留所乗降環境整備事業の内容は。

答 那加線の増便により市役所前駅バス乗り場に停まる

るバスの台数が増えるため、産業文化センター側のバス停留所を、現在の約25メートルから約40メートルに延ばして、バス4台が収まるように工事する。



改良工事が実施される市役所前駅バス停留所

問 結婚や出産を機に退職された方の再就職を支援する女性向け企業見学会開催事業の成果は。

答 3回開催した女性向けの企業見学会には16人の方が参加され、6人の方は見学した企業の採用選考に進み、このうち2人が採用され、着実に就職につながっているという実績がある。

建設水道常任委員会

令和5年度一般会計予算

問 各務山開発事業について、今後どのような利用の可能性を探るのか。

答 各務山の東側で、岩坂グリーンロードから各務山を通り、南はJR各務ヶ原駅を結ぶ道路の整備の可能性を検討する。

問 前渡地区木曾川周辺整備事業について、民間事業者による利用の見込みは。

答 グランピングとバーベキューの利用料金は1人当たり5500円で、利用者数を平日20人、土日50人と見込んでおり、ドリンクスタンドは一杯150円ぐらいからで、利用者数を平日20人、土日80人と見込んでいます。

問 那加地区にぎわい運営協議会活動支援事業の目的は。

答 現在、新那加駅から市民公園・学びの森のエリアで活動する団体などにより、その周辺でにぎわいが生まれている状況にある。

より一層の魅力向上のために、その団体などに意見交換の場を設けることで、新たな発想が生まれることを期待し、協議会設立の支援をする事業である。

問 蘇原駅周辺地区都市構造再編集集中支援事業の内容は。

答 令和5年度は、交通結節点の強化を図るために、駅舎北側に駅前広場のロータリーを整備し、ふれあいバスが乗り入れできるようにするほか、その西側に250台ほどの自転車が収容できる駐輪場を整備し、バリアフリーに配慮したトイレも設置する。



J R 蘇原駅周辺完成予想図

賛成…○ 反対…× 欠…欠席

| | 政和クラブ | | | | | | | | | | | 颯清会 | | | | 公明※ | | | 共産※ | | みらい※ | | 無会派 | | |
|--|-------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------------------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|--------|------|------|------|-----|---|
| | 井戸田直人 | 塚原甫 | 小島博彦 | 指宿真弓 | 瀬川利生 | 仙石浅善 | 水野盛俊 | 坂澤博光 | 川嶋一生 | 足立孝夫 | 川瀬勝秀 | 大竹大輔 | 岩田紀正 | 津田忠孝 | 池戸一成 | 黒田昌弘 | 五十川玲子 | 横山富士雄 | 永治明子 | 波多野こうめ | 古川明美 | 杉山元則 | 水野岳男 | 吉岡健 | |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長は表決に 加わりません | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ |
| | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ |

※公明…市議会公明党／共産…日本共産党各務原市議会議員団／みらい…市民派・チームみらい

| 議案等の種類 | 案件名 |
|--------|--|
| 条例 | 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 |
| | 自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 |
| | 自由通路設置条例を廃止する条例 |
| | 手数料条例の一部を改正する条例 |
| 人事 | 教育委員会委員の任命（小島聡太郎氏） |
| | 公平委員会委員の選任（各務英雄氏） |
| | 人権擁護委員候補者の推薦（横山正弘氏） |
| | 監査委員の選任（大竹大輔氏） |
| その他 | 市道路線の認定（市道蘇北 801 号線ほか 3 路線） |
| | //（市道鶺 1423 号線ほか 1 路線） |
| | 市道路線の廃止及び認定（市道鶺 1416 号線） |
| 議員提案 | 総合計画特別委員会の設置決議 |
| | 常任委員会の閉会中の継続調査 |

審議の結果

令和5年3月定例会

議案等の審議の結果は以下のとおりです。

■ 賛否が分かれた議案等

| 議案等の種類 | 案件名 | 会派名・所属議員名 | 議決結果 |
|--------|-----------------------|-----------|------|
| 新年度予算 | 令和5年度一般会計予算 | | 可決 |
| | 令和5年度国民健康保険事業特別会計予算 | | 可決 |
| | 令和5年度後期高齢者医療事業特別会計予算 | | 可決 |
| 補正予算 | 令和4年度一般会計補正予算(第11号) | | 可決 |
| | // (第12号) | | 可決 |
| 条例 | 国民健康保険条例の一部を改正する条例 | | 可決 |
| | 健やか手当金支給条例を廃止する条例 | | 可決 |
| | 社会教育委員条例の一部を改正する条例 | | 可決 |
| | 公民館条例の一部を改正する条例 | | 可決 |
| | 少年センター設置条例の一部を改正する条例 | | 可決 |
| 人事 | 副市長の選任(今道雄介氏) | | 同意 |
| その他 | 公の施設の指定管理者の指定(本庁舎駐車場) | | 可決 |

■ 賛成全員で可決・同意された議案等

| 議案等の種類 | 案件名 |
|---------------------------------------|---|
| 新年度予算 | 令和5年度介護保険事業特別会計予算 |
| | 令和5年度水道事業会計予算 |
| | 令和5年度下水道事業会計予算 |
| 補正予算 | 令和4年度一般会計補正予算(第10号) |
| | // (第13号) |
| | 令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) |
| | 令和4年度水道事業会計補正予算(第2号) |
| 条例 | 令和4年度下水道事業会計補正予算(第2号) |
| | 職員定数条例の一部を改正する条例 |
| | 総合福祉会館条例等の一部を改正する条例 |
| | 福祉の里条例の一部を改正する条例 |
| | 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 |
| 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | |

代表質問

代表質問とは、所属議員3人以上の会派がそれぞれの政策・主張に基づき市政に関して質問するものです。

新特別支援学校

政和クラブ 仙石浅善

問

新特別支援学校の開校に向け市民へのメッセージは。

答

新特別支援学校の整備については、この各務原の地で生まれた子どもには、この地で学び、この地で育ってほしいという願いのもとスタートしており、令和5年度からは、校舎の建築工事が始まり、学校の中身づくりも具体化していく。

令和7年4月の開校に向け、今後の学校づくりにも一人でも多くのお力添えをお願いしたい。

問

学校の目玉となるような教材備品や学校図書、ICT機器などの整備方針は。

答

新特別支援学校の目玉の一つである図書コーナーは、新たに通う小中学生向けの図書や読み聞かせに使える大型の絵本、障がいのある児童生徒が読みやすいように作られた「L1ブック」など、必要な図書を精選して整備し、児童生徒がさまざまな本に親しめるようにしたいと考えている。

オンラインでの授業が必要な児童生徒も在籍する見込みであるため、電子黒板やタブレット端末、学習用ソフトなどICT機器を有効に活用できる環境整備に努めていく。

工場用地のニーズ

颯清会 池戸一成

問

工場用地のニーズ調査は行っているか。

答

令和3年度に各務原商工会議所が会員向けに行ったアンケート調査では、17社が「工場用地を探している」と回答しており、令和4年度に市が市内事業者向けに行った調査では、14社が「事業用地の確保」を課題として挙げている。

その他、窓口などにおいて「市内に立地可能な工場用地があるか」といった問い合わせが市内外の事業者や金融機関などからここ2年余りで約40件あり、市内に工場用地を求め、ニーズが高いことが伺える。

問

さらなる工場用地の必要性をどう考えるか。

答

今後立地が可能な工場用地は、市土地開発公社が販売を予定しているテックフォルテ各務原の1区画のみとなっており、新たな用地確保が課題となっている。

さらなる工業系用地の確保については、都市計画マスタープランの中で「自然との調和を図りながら既存産業の維持・拡大に対応するとともに、新たな産業のための土地確保に努める」としており、市内外の企業の声に応えていきたいと考えている。

自治体の歳入増加策

市議会公明党 黒田昌弘

問

企業版ふるさと納税を含めた「ふるさと納税」の実績と今後の戦略は。

答

令和4年度の実績は、令和5年2月末時点で寄附件数約1万9千件、寄附金額約4億5300万円、令和3年度と比較すると寄附件数で約3千件、寄附金額で約5千万円増加している。

本市のものづくり技術を活かした返礼品を追加したことが非常に好評で増加につながった。

企業版ふるさと納税は、創設以来、延べ29の企業から5600万円余りの寄附を受け、特に航空宇宙博物館リニユール事業への寄附は、トップセールスが功を奏した事例として地方創生担当大臣から表彰された。

引き続き、ものづくり技術を活かした魅力ある返礼品の発掘と全国に各務原らしさをアピールし、応援人口のさらなる増加を目指していく。

問

役務サービス提供などのネーミングライツを検討しては。

答

ネーミングライツは、企業の単なるPRの手段ではなく、協働の一つの手段になりうるものと認識しており、効果的な活用の検討をしていく。

一般質問

3月定例会で一般質問をした議員（質問順）

五十川玲子／波多野こうめ／水野岳男／指宿真弓／横山富士雄／塚原甫／古川明美／杉山元則／永治明子

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などに関し、各議員が市に対して質問しました。その一部を紹介します。

子ども家庭福祉政策の方向性

関係各課の連携による一体的支援

問 令和5年度からの「こども家庭庁」の設置を受け、本市での妊産婦・子育て世帯に対する福祉政策の方向性と今後の組織体制は。

答 令和3年度の行政組織改訂により新たに再編された「子ども家庭支援課」に「子ども家庭総合支援拠点」と「母子健康包括支援センター（クローバー）」を設置して、児童福祉と母子保健の一体的な支援体制を整え、妊産婦や子どもへの支援を行っている。

また現在、すべての子どもと親が幸せを実感できるよう「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、関係各課が連携を図りながら取り組んでいる。



本庁舎1階の母子健康包括支援センター

今後の組織体制については、国からの「こども家庭センター」設置に関する通知などを踏まえて、円滑な体制の構築に向けて検討していく。

乳幼児の発達支援

問 乳幼児発達支援の現状と課題は。

答 近年、全国的に支援を必要とする児童が増加していると言われており、本市も同様の状況となっている。

保育所などから「保育士が足りず、支援が必要な児童に保育士を加配することが難しい」という声や「**？すくすく応援隊**」の訪問回数を増やし、もっと助言が欲しい」との要望がある。

問 **？すくすく応援隊** 療育担当の保育士や特別支援教育の指導教員が、チームを組んで保育所などを訪問し、保育士などに対して助言を行う事業。課題に対する今後の展望は。

答 保育士の加配については、引き続き積極的な保育士の確保に努める。
すくすく応援隊は年間100

日以上訪問しており、これ以上回数を増やすことができないため、令和5年度から訪問の在り方の見直しを検討していく。

訪問では、保育士に対し、一人の児童の事例を他の児童の支援に活かし、より多くの児童に対応できるよう働きかけていく。

行政のデジタル化

問 行政のデジタル化をどのように取り組むのか。

答 現在、第3次ICT基本計画（後期計画）で定めた基本方針の下でDXを推進しているところだが、市の実態と将来を見据えた計画への見直しを検討しているところである。

また、デジタル技術の活用により、社会課題解決や地域の魅力向上の取り組みを深化・加速化させていくため、次期総合戦略を一年前倒して策定を行う予定である。

子どもの体力・運動能力向上

小中学校の取り組みの成果を意見交換・共有

問 子どもの体力低下が懸念されるが、どのように把握・分析しているか。

答 小学5年生と中学2年生を対象とした令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、小学5年生は実技の総合評価が全国平均値より低い一方、中学2年生は全国平均値より高かった。

小学生の体力低下の要因の一つとして、新型コロナウイルス感染症の影響で、ドッジボールや鬼ごっこなど安心して仲間と遊ぶ機会や、体育の授業などで仲間と関わりながら楽しく運動ができる時間が減少したことが考えられる。

問 成果が上がった体力・運動能力向上の取り組みは。

答 小学校では、体育の授業の縄跳び・鉄棒で、市独自に作成した学習カードを活用したり、小学校保健体育担当者が会で作成した動画を参考にして、自分で決めた回数を目標に自主的に取り組む場を設定するなど

体力向上に努めており、令和4年度には握力(筋力)の値が全国平均値より高い値を示し、少しずつ成果が出ている。

また中学校では、体育の授業の長距離走でペースを守りながら一定の距離を走るなど、全身持久力の向上に努めている。

取り組みの成果については小中学校の体育担当者などで意見交換し、毎年作成している冊子「各務原の子」にて各学校に周知・共有している。



コロナ禍に行われた体力テスト (蘇原第一小学校)

公共交通の維持・活性化

問 ふれあいバス・チョイソコかみがはらの今後の取り組みは。

答 令和5年10月には、那加線と鵜沼線の一部路線を改正し、毎時同じ時刻に発着するパターンダイヤを目指す。

また令和6年春にはJR蘇原駅・駅前広場への蘇原線の乗り入れや、ふれあいバスでも「m an a c a」などの交通系ICカードが利用できるよう整備を進めていく。

問 市内の公共交通全体の維持・活性化の取り組みは。

答 鉄道や路線バスとふれあいバスやチョイソコなどの連携を強化していくため、運行内容の改善や利用環境の整備だけでなく、鉄道事業者やバス事業者を巻き込んだ「デジタルチケット」など、利用促進事業も積極的に展開し、地域に根付いた公共交通を築いていく。

公共交通を取り巻く現況は厳しいが、だからこそさまざまな交通事業者と連携を図り、市民との対話を重ね、本市のまちづくりの礎の一つとなる持続可能な鉄道や路線バスを軸とし、公共交通の維持・活性化に取り組んでいく。

放課後児童クラブの利用

問 放課後児童クラブに専用アプリを導入する考えは。

答 令和4年度に放課後児童クラブと保護者間の出席連絡をスマートフォンなどで行う連絡システムの実証実験を行っており、その結果を踏まえ、令和5年度から放課後児童クラブにおいて連絡システムを導入していく考えである。

現総合体育館の今後の取り扱い

問 現総合体育館の今後の取り扱い扱いは、どのように決めていくのか。

答 令和5年度中に利用状況の分析や、スポーツ施設の利用者やスポーツ団体へのアンケートなどを行った上で、既存スポーツ施設とのバランスも考慮して決定したい。

共生社会に向けた環境整備

新特別支援学校にもインクルーシブ遊具を設置

問 公園へのインクルーシブ遊具の設置状況と今後の計画は。

答 近年では障がいのある子もいない子も共に学び、遊び、育つことができるような環境づくりとして、インクルーシブの理念が注目されており、インクルーシブ遊具は障がいの有無や年齢、性別、身体能力などに関係なく、誰もが楽しく遊べることをコンセプトにしている。

市民公園にある大型遊具は、車椅子の方でもみんなと一緒にデッキで遊ぶことができる機能を備えており、整備中の新特別支援学校の遊具広場では、児童生徒や保護者などの意見を反映させた遊具を設置し、市民にも開放する予定である。

問 公園への遊具設置要望に対し、障がい福祉の観点から見た市の考えは。

答 全国各地で公園リニューアルの際にインクルーシブ遊具が取り入れられており、潜在的なニーズがあるもの

と認識している。

また、さまざまな個性や背景を持つ子どもたちが一緒に遊ぶことで、人の多様性を自然に理解し、共に生きる心が育つことが期待できる。

本市としては、共生社会の実現に向けて誰もが利用しやすい公園となるよう、障がいのある子どもを育てる方々や支援団体、有識者などの意見を参考にしながら、関連部署と連携して取り組んでいくことが重要と考える。



市民公園に設置されているインクルーシブ遊具

ジェンダーギャップ(男女格差)の解消

問 ジェンダーギャップ解消に向けた戦略は。

答 「第5次男女共同参画プラン」を策定するにあたり、市民や事業所への意識調査などを行い、他の自治体の先進事例なども参考にしている。

ジェンダーギャップ解消に向け取り組むべき重点目標や施策の方向性などを検討し、計画へ盛り込むことで、総合的かつ計画的に施策を推進していきたい。

子育てしたいまちへ

問 3歳未満の在宅育児の保護者への支援の考えは。

答 令和5年度から保育料の引き下げを行う予定だが、保護者が家庭での保育を優先する場合には、経済的な支援ではなく、保育で孤立しない支援が必要と考えている。

今後も、仕事をしたい保護者には子どもを預けやすい環境整備を図る一方、家庭での保育を希望する保護者には、積極的に

子ども館などの利用を周知し、家庭での保育で孤立しないような支援施策を充実させていく。

問 「子育てしたいまちとはどんなまち」をテーマに各地域で交流会を開催し、シテイプロモーションにつなげる考えは。

答 子育て世代が集まる「親子サロン」や「子育てサークル」などで、そのような意見を聴く機会を設け、実現可能な施策を検討していく。

これらの過程や意見から実現した施策については、子育てしたいまちの魅力の一つとして、市の魅力発信に活かしていく。



尾崎ふれあい会館で実施されている親子サロン

市民の声

こんな街が いいな！



海外の方々に 寄り添える街

いがらし 小優粒さん (那加西野町)

私は日本語の教師をしています。
近年は来日して、そのまま日本で就職する留学生も増え、彼らのアルバイト先や就職先の方々からは「もっと日本語を勉強してほしい」という声が多く聞かれます。
もちろん留学生の努力も必要ですが、受け入れる側にもできる工夫があると思います。
その一つに「やさしい日本語」があります。
相互に歩み寄ってはじめて、多文化共生は実現すると思います。
やさしい日本語は、留学生・外国人だけでなく幼い子どもや障がい者にも有効です。
やさしい言葉が広がる街になることを願っています。



笑顔であふれる街

さいとう はるみ
齊藤 治美さん (鵜沼三ツ池町)

今年から、初めて自治会長を務めています。
3月中旬には、コロナ対策も緩和されましたが、自治会行事で実施できたのは屋外でのパターゴルフやクロッケーゴルフなどでした。
そのような中でも、皆さんが楽しそうに笑顔でプレーしている姿が非常に印象的でした。
自治会行事を行うことが、皆さんのふれあいの場や憩いの場となることを認識し、その大切さを改めて知ることができました。
これからもみんなが楽しく参加でき、魅力あふれる、笑顔あふれるイベントがたくさん開催される街であってほしいと思います。



人を大切にする街

さわだ かつのり
澤田 勝則さん (入会町)

歴史と自然に恵まれた郷土は私たちの誇りです。
本市は文化施設も充実しており、後はソフト面が充足すれば鬼に金棒です。
これからは箱より人です。
新総合体育館建設事業費があれば、小中学校の給食費無償化や高校生までの医療費無償化ができますよね。
各務原市独自のひとり親世帯への手厚い支援や、介護士さん、保育士さんへの支援もできるのではないのでしょうか。
誰もがお世話になる方々です。
人への投資がこれからは大切な時代になってくると切に思います。

市議会だより編集委員会



今号より、新たなメンバーで編集を行っています。
今後も「市議会だより」をよろしくお願いします。

- | 委員長 | 仙石浅善
- | 副委員長 | 井戸田直人
- | 委員 | 水野岳男 杉山元則
指宿真弓 岩田紀正

6月定例会の予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|------------------------|-------------------|----------------|----------------|------------------------|-----|
| | 5/29 告示 | 30 | 31 議会運営委員会 | 6/1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 本会議 (開会) | 6 | 7 質疑・質問通告日 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 本会議 質疑・一般質問 | 20 本会議 一般質問 | 21 (質問予備日) | 22 (質問予備日) | 23 民生・経済教育 常任委員会 | 24 |
| 25 | 26 建設水道・総務 常任委員会 | 27 (委員会予備日) | 28 (委員会予備日) | 29 本会議 (閉会) | 30 | 7/1 |

※日程は変更となる可能性があります。

かかみがはら 市議会だより

| 発行 | 各務原市議会 岐阜県各務原市那加桜町 1-69
| 電話 | 058-383-2001
| 編集 | 市議会だより編集委員会

市議会の詳しい情報や、
本会議の映像は、こちら
からご覧ください。

